

XBRL Japan 大阪セミナー

XBRLの概要(実務・初級編)
XBRLと決算・監査・内部統制

2006年9月15日

大阪成蹊大学 現代経営情報学部 助教授
法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 客員教授
公認会計士 石島 隆

XBRLと決算

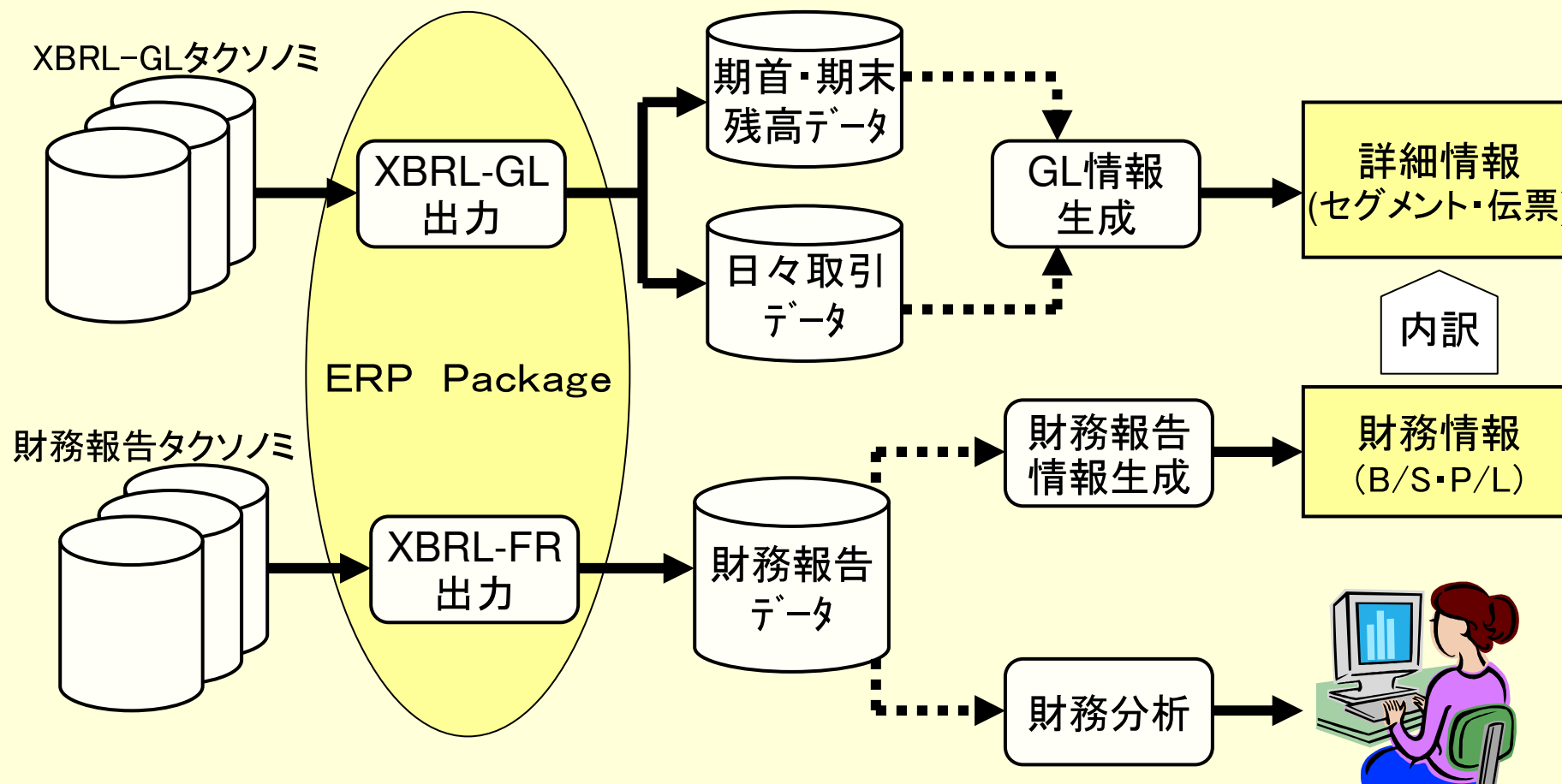
XBRL-GLと財務報告の連携利用

XBRLタクソノミ

ERPパッケージ

XBRLインスタンス

情報開示・分析



(出典)『XBRL FACT BOOK』XBRL Japan, 2005.11, p.15

(c)Takashi ISHIJIMA, 2006 All rights reserved

財務報告のための処理の流れ

会計処理のための各種マスタ登録及びシステム間のマスタ連携処理



期中取引処理: 各種業務システムによる処理と一般会計システムへの連携



単体決算処理: 各社単体の決算処理(四半期・半期・年次)

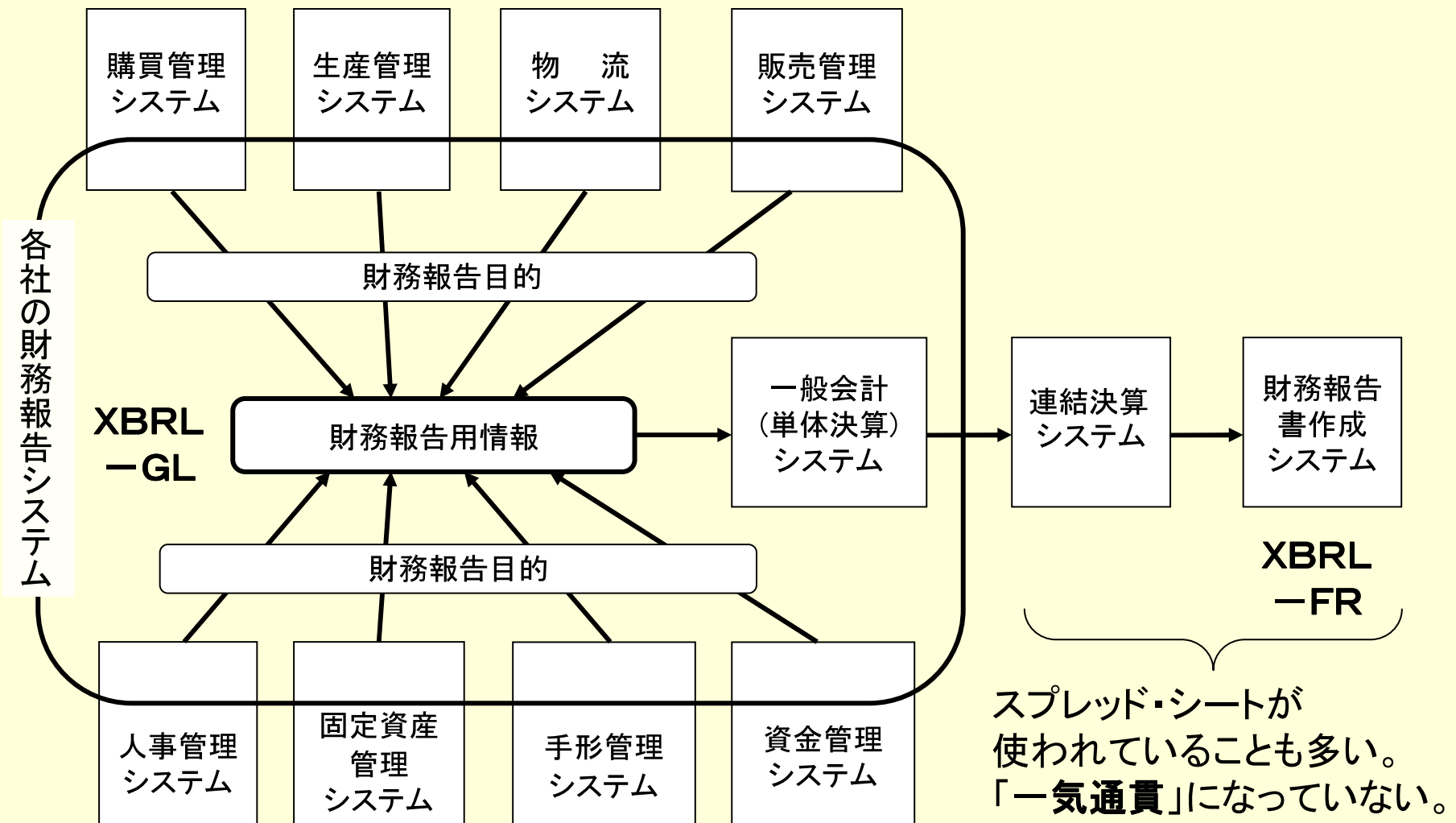


連結決算処理: 企業集団全体の決算処理(四半期・半期・年次)



財務報告書類作成: 外部公表用書類の作成(四半期・半期・年次)

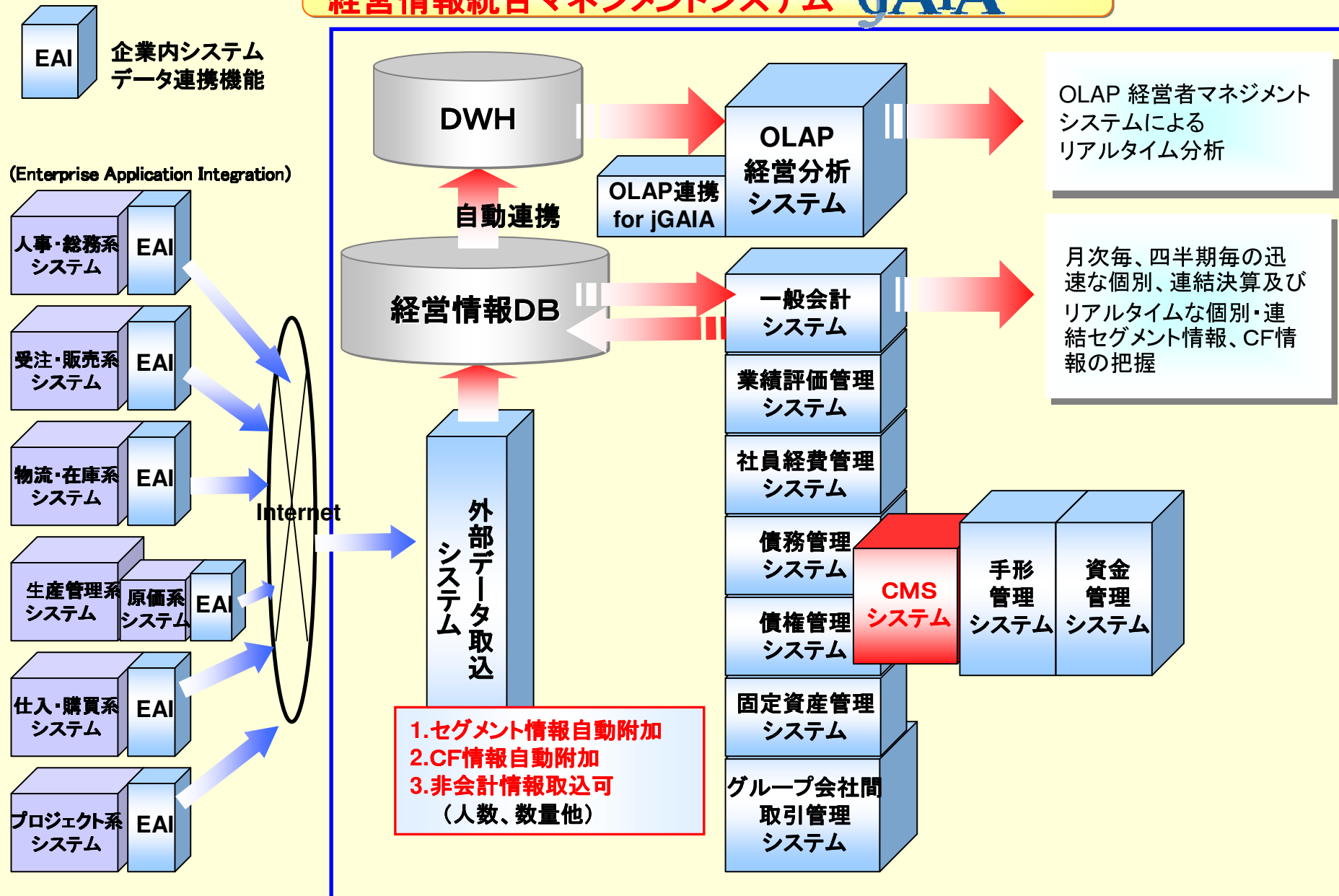
財務報告のための情報システムの概念図



(出典) 日本公認会計士協会情報システム委員会報告第14号「会計情報システムの一般的具備要件」p.8 の「会計情報システムの概念図」を加筆修正。

経営情報統合マネジメントシステム

GAIA



財務報告と内部統制の関係

- 内部統制は「財務諸表の信頼性を支える総合的な基盤(状況証拠としての内部統制)」(鳥羽至英『内部統制の理論と実務』p.197)

(プロダクト)
財務諸表

財務諸表上の「経営者の主張」

(実在性、網羅性、評価の妥当性、権利と義務の帰属、
期間配分の適切性、表示の妥当性)

財務諸表の信頼性の基礎



「経営者の主張」をサポート

(プロセス)
内部統制

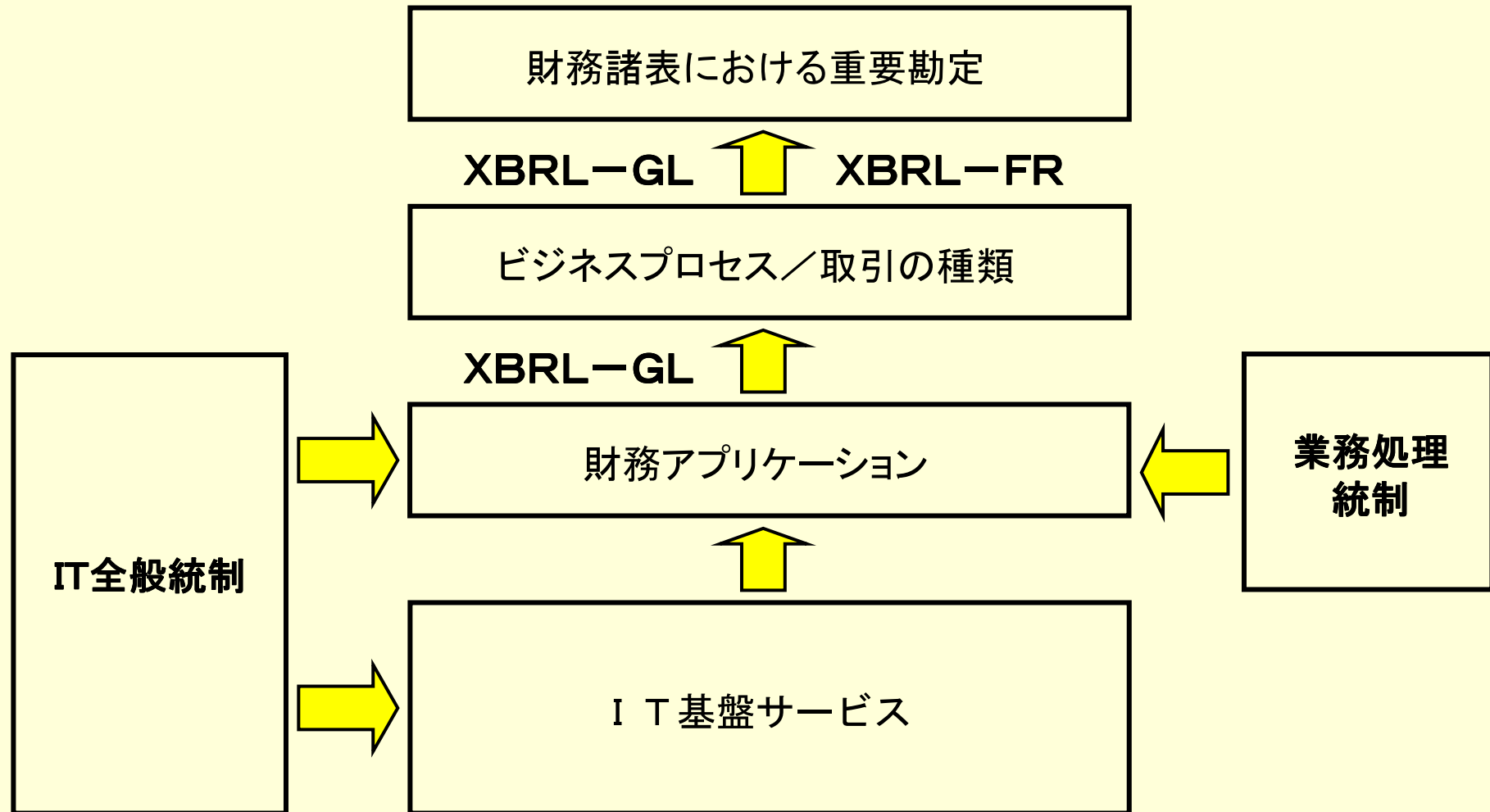
各業務プロセスにおける
リスクの評価と対応、統制活動、モニタリング(監視活動)

情報と伝達 (Information & Communication)

統 制 環 境

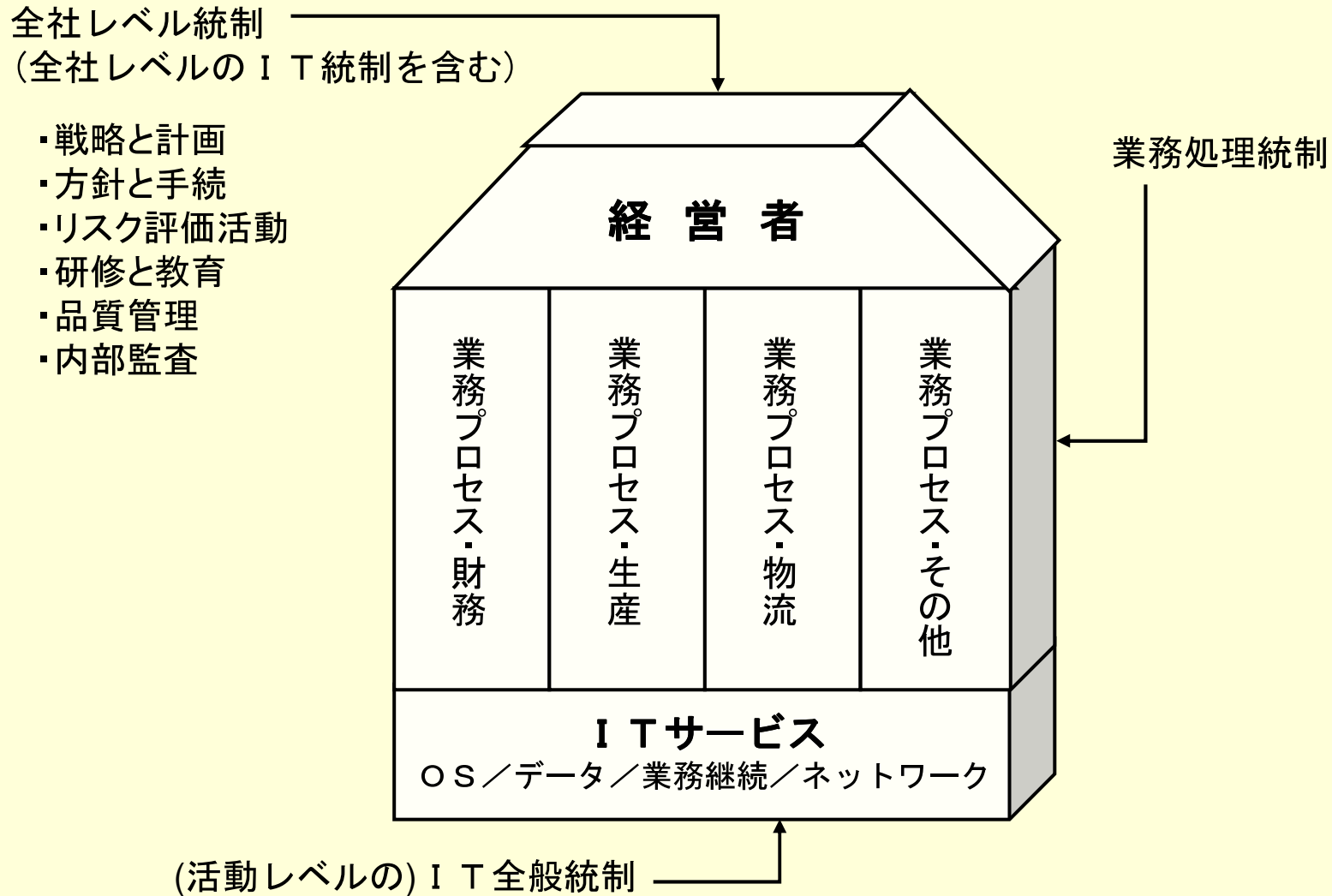
I
T
へ
の
対
応

財務諸表と I T 内部統制



(IT Governance Institute, *IT Control Objectives for Sarbanes-Oxley, 2nd Edition, Exposure Draft*, 2006, p.28に加筆)

組織の共通要素



(IT Governance Institute, *IT Control Objectives for Sarbanes-Oxley, 2nd Edition, Exposure Draft*, 2006, p.13)

(c)Takashi ISHIJIMA, 2006 All rights reserved

全社レベルのIT全般統制

(COBIT for SOX)

統制環境

- ・ IT戦略の計画
- ・ IT組織と連携
- ・ 人的資源の管理
- ・ 利用者の教育と訓練

情報と伝達

- ・ マネジメントの目的と方向付け

リスク評価

- ・ リスクの評価
- ・ 継続的サービスの確実化

モニタリング

- ・ 品質管理
- ・ モニタリング
- ・ 独立した第三者の保証

活動レベルのIT全般統制

SOX法に対応した IT統制目標	COBIT	PCAOBのIT全般統制			
	COBIT4.0 との対応	プログラム 開発	プログラム 変更	コンピュ タ運用	プログラム とデータへ のアクセス
アプリケーションソフトウェアの取得及び保守	AI2	●	●	●	●
ITインフラの取得及び保守	AI3	●	●	●	
ITプロセス、組織及び連携の開発	P04	●	●	●	●
アプリケーションソフトウェア及びITインフラの導入とテスト	AI7	●	●	●	●
変更管理	AI6		●		●
サービスレベルの定義と管理	DS1	●	●	●	●
サードパーティサービスの管理	DS2	●	●	●	●
システムのセキュリティの保証	DS5			●	●
構成管理	DS5			●	●
問題と事故の管理	DS8, 10			●	
データ管理	DS11			●	●
物理的環境及びオペレーションの管理	DS12, 13			●	●

(IT Governance Institute, *IT Control Objectives for Sarbanes-Oxley, 2nd Edition, Exposure Draft*, 2006, p.9)

システムセキュリティの保証(キー・コントロール)

(COBIT for SOX)

- 情報セキュリティポリシーの存在と適切なレベルの経営責任者による承認。
- 取引の正当性をサポートするための全てのユーザのシステムへの認証手続の存在と遵守。
- 認証とアクセス機能の有効性を保つための手続の存在と遵守。(例: 定期的なパスワード変更など)
- ユーザカウントの申請、設定、発行、一時停止、削除に関する適時の対応を確実にするための手続の存在と遵守。
- アクセス権に関して定期的に検討・確認するための統制プロセスの存在と遵守。
- IT セキュリティ管理部門によるセキュリティ行為に関するモニタリング、記録と識別したセキュリティ違反の経営幹部への報告。
- システムとデータへのアクセス権の申請と承認に関する適切な職務分離を確実にする統制の存在と遵守。

エンドユーザコンピューティング

(COBIT for SOX)

- セキュリティ、可用性、処理の万全性(インテグリティ)に関するエンドユーザコンピューティングの方針と手続の存在と遵守。
- スプレッドシート及びユーザが開発した他のプログラムを含む、エンドユーザコンピューティングの文書化と正確なソート、要約、報告能力を含む処理の万全性(インテグリティ)の定期的検討。
- ユーザが開発したシステムとデータの定期的バックアップと安全な領域への保管。
- スプレッドシートや他のエンドユーザ・プログラムなどのユーザが開発したシステムの不正使用からの保護。
- ユーザが開発したシステムへの入力、処理、出力の完全性と正確性についての独自の検証。

(IT Governance Institute, *IT Control Objectives for Sarbanes-Oxley, 2nd Edition, Exposure Draft*, 2006, p.72-73)

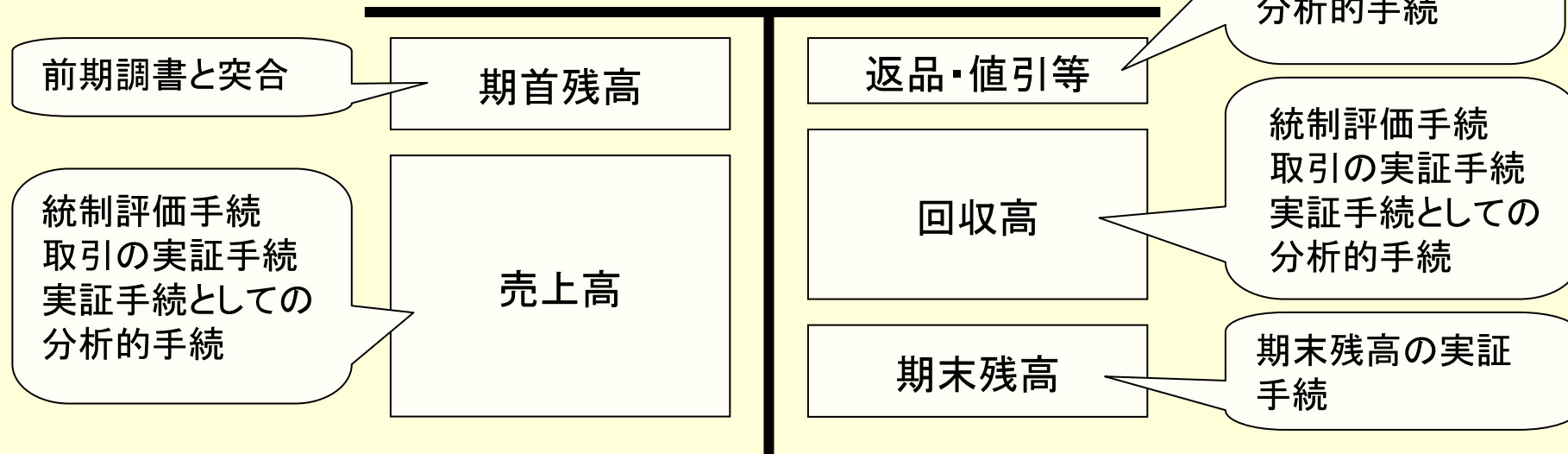
内部統制におけるキー・コントロール

- 方針, 手続, 方法, 組織構成を含んでいる
- 複数の統制目標に関連
 - アクセスコントロールは, 財務取引の正当性, 勘定の評価, 職務の分離などに関連
 - キー・コントロールの組み合わせは目的達成に有効
 - 単独の統制への過度の依存は障害を作る
- 重要なリスク又は目標に直接関連
 - 無許可のアクセスはほとんどの会社で重要
- 予防的統制は発見的統制より有効
- 自動統制はマニュアル統制より信頼性が高い
 - ユーザパスワードの定期的変更の自動化は, 総括的な方針より信頼できる

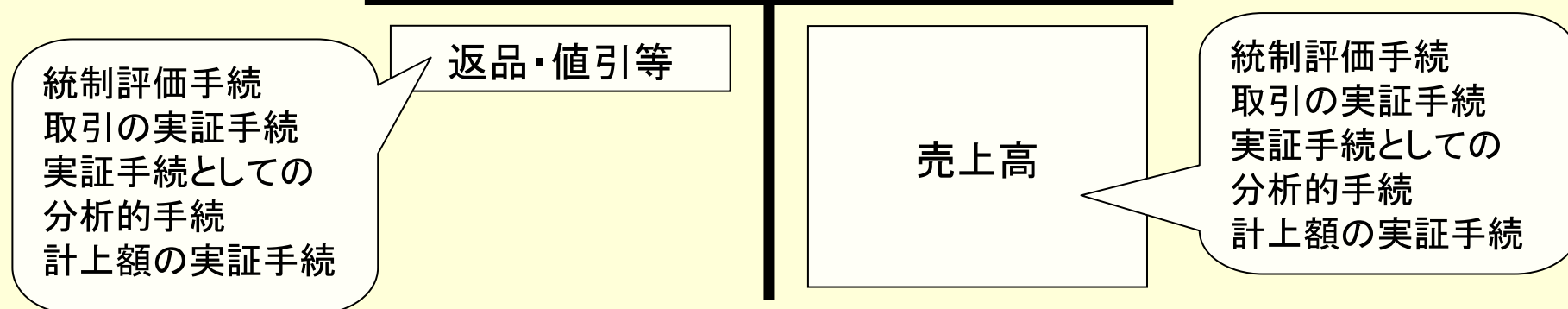
(IT Governance Institute, *IT Control Objectives for Sarbanes-Oxley, 2nd Edition, Exposure Draft*, 2006, p.34)

販売プロセスの監査

売掛金勘定



売上高勘定



山浦久司『会計監査論(第4版)』中央経済社, 2006, p.321を参考にして作成

(c)Takashi ISHIJIMA, 2006 All rights reserved

XBRLと監査・内部統制

- 財務諸表監査との関係
 - 統制評価手続
 - 取引の実証手続
 - 実証手続としての分析的手続
 - 期末残高の実証手続
- 内部統制との関係
 - モニタリング
 - 運用の有効性評価（テストイング）
 - 実証的内部統制の可能性

おわりに

- ・ 財務報告に係る業務プロセスにおいて、ITは切っても切り離せない存在であり、人手とITの機能を一体として評価する必要がある。
- ・ 今後、内部統制の整備・運用に当たっては、方針の設定、手続の標準化と並んで、データの標準化が重要であり、XBRLの利用を推進していく必要がある。

ご清聴ありがとうございました。

大阪成蹊大学 現代経営情報学部 石島 隆

ishijima@osaka-seikei.ac.jp

日本版SOX法の総合情報ポータルサイト

<http://www.japan-sox.com/>